

授業名： 作業療法研究法

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4	
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	15(30)	
			【曜日・コマ】	月 1・2	【授業形態・単位】	講義 1	
【授業の概要】 評価実習Ⅲ期で担当した対象者について評価内容の解釈および治療計画立案を行いディスカッションします。					【受講して得られる力】		
【学習目標(到達目標)】 ①領域別の作業療法過程について理解を深めることができる。 ②ガイドラインに沿った作業療法プログラムを立案できる。 ③その人の作業文脈を取り入れた治療計画の立案ができる。					考え抜く力 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力 論理的思考力 創造的思考力		
【履修上の注意】 臨床実習の学習をより充実するための思考過程および準備を行います。							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	事例研究の意義		作業療法における事例研究の意義が理解できる。 実践内容のオリエンテーションをすることで課題を理解する。				
2	身体障害領域事例研究①		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
3	身体障害領域事例研究②		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
4	身体障害領域事例研究③		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
5	身体障害領域事例研究④		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
6	精神障害領域事例研究①		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
7	精神障害領域事例研究②		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
8	精神障害領域事例研究③		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
9	精神障害領域事例研究④		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
10	老年期障害事例研究①		事例評価の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
11	老年期障害事例研究②		事例の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
12	老年期障害事例研究③		事例の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
13	老年期障害事例研究④		事例の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
14	発達障害領域事例研究①		事例の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
15	発達障害領域事例研究②		事例の解釈および根拠に基づくプログラム立案ができる。 ディスカッションすることで視点を広げ、プログラムの修正ができる。				
期末試験	評価方法		課題の達成度	80%		0%	
			受講態度	20%		0%	
【教科書】随時紹介します。							
【参考書】随時紹介します。							
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】3年生までの治療学の資料を熟読して臨んでください。							
【本講義についての質問先】			担当教員	【質問方法】			教員室にて

授業名： 作業療法マネジメント概論

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4	
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	8(15)	
			【曜日・コマ】	火 1	【授業形態・単位】	講義 1	
【授業の概要】 作業療法部門の管理・運営について理解を深め、作業療法に必要な情報・サービス・安全・業務等のマネジメント能力を身につける。					【受講して得られる力】		
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法マネジメントの資源とその特性について理解を深めることができる。 ②チームの一員として実務遂行に必要な能力を身につけることができる。 ③作業療法業務マネジメントをPDCAサイクルに則り実行できるようになる。					チームで働く力 知識・理解 専門職としてのスキル・意識 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力		
【履修上の注意】 臨床で必須となる領域ですので能動的に学んで実践できるようにしてください。							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	作業療法とマネジメント		作業療法におけるマネジメントが理解でき、PDCAサイクルに則った運用および目標設定ができる。組織の成り立ちが理解できる。				
2	情報マネジメント		情報をチーム医療の中で活用する方法、活用する上での注意点を理解することができる。				
3	医療サービスマネジメント		医療サービスとは何か理解できる。質の高いサービスを提供するためのツールや制度等について理解できる。				
4	医療安全マネジメント		リスクマネジメントの必要性和ヒューマンエラー予防について理解できる。インシデント・アクシデントレポートが記載できる。				
5	作業療法業務マネジメント①		作業療法に必要な人・物・経済のマネジメントの理解を深める。情報およびタイムマネジメント、ストレスマネジメントの理解を深める。				
6	作業療法業務マネジメント②		作業療法に必要な人・物・経済のマネジメントの理解を深める。情報およびタイムマネジメント、ストレスマネジメントの理解を深める。				
7	作業療法業務マネジメント③		作業療法業務実践例から実際の作業療法マネジメントに必要な要素を抽出し、実践で必要となる能力を検討する。				
8	作業療法士のキャリア開発		臨床と実践知と研究の関係性について学びを深めることができる。ワークライフバランスを考えたキャリア形成について理解できる。				
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
期末試験			評価方法	受講態度	30%	0%	
				課題の達成度	70%	0%	
【教科書】							
【参考書】随時紹介します。							
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】							
【本講義に関する質問先】			科目責任者	【質問方法】			教員室にて

授業名： 総合演習 (1/5)

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	75(150)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	演習・実習 5
【授業の概要】 国家試験対策を小グループで行う。国家試験合格を目的とした知識・技術の整理と学習は、卒後の臨床にも役立つのでしっかり取り組む。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法実践に必要な解剖学・運動学・生理学の基礎知識を活用できる。 ②臨床医学の要点を整理することで作業療法実践に活用できる。 ③作業療法実践に活用できる領域別の治療の知識を深め実践できる。					知識・理解 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力	
【履修上の注意】						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	ガイダンス		小グループ方式での学習実践について方法や留意点を説明する。 小グループで学習計画を立案する。			
2	グループ学習 1:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
3	グループ学習 2:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
4	グループ学習 3:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
5	グループ学習 4:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
6	グループ学習 5:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
7	グループ学習 6:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
8	グループ学習 7:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
9	グループ学習 8:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
10	グループ学習 9:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
11	グループ学習 10:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
12	グループ学習 11:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
13	グループ学習 12:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
14	グループ学習 13:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
15	グループ学習 14:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	100%	0%
					0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】作業療法士国家試験必修ポイント全4冊, 医歯薬出版。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】						
【本講義についての質問先】			担当教員	【質問方法】		
				教員室にて		

授業名： 総合演習 (2/5)

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	75(150)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	演習・実習 5
【授業の概要】 国家試験対策を小グループで行う。国家試験合格を目的とした知識・技術の整理と学習は、卒後の臨床にも役立つのでしっかり取り組む。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法実践に必要な解剖学・運動学・生理学の基礎知識を活用できる。 ②臨床医学の要点を整理することで作業療法実践に活用できる。 ③作業療法実践に活用できる領域別の治療の知識を深め実践できる。					知識・理解 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力	
【履修上の注意】						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	グループ学習 15:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
2	グループ学習 16:基礎医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
3	グループ学習 17:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
4	グループ学習 18:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
5	グループ学習 18:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
6	グループ学習 19:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
7	グループ学習 19:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
8	グループ学習 20:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
9	グループ学習 20:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
10	グループ学習 21:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
11	グループ学習 21:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
12	グループ学習 22:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
13	グループ学習 22:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
14	グループ学習 23:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
15	グループ学習 23:臨床医学		基礎医学(解剖学・運動学・生理学)の基礎知識整理と臨床医学とのつながりについて口頭試問及びミニテストで確認する。			
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	100%	0%
					0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】作業療法士国家試験必修ポイント全4冊, 医歯薬出版。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】						
【本講義についての質問先】			担当教員	【質問方法】		
				教員室にて		

授業名： 総合演習 (3/5)

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	75(150)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	演習・実習 5
【授業の概要】 国家試験対策を小グループで行う。国家試験合格を目的とした知識・技術の整理と学習は、卒後の臨床にも役立つのでしっかり取り組む。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法実践に必要な解剖学・運動学・生理学の基礎知識を活用できる。 ②臨床医学の要点を整理することで作業療法実践に活用できる。 ③作業療法実践に活用できる領域別の治療の知識を深め実践できる。					知識・理解 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力	
【履修上の注意】						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	グループ学習 24:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
2	グループ学習 25:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
3	グループ学習 26:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
4	グループ学習 27:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
5	グループ学習 28:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
6	グループ学習 29:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
7	グループ学習 30:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
8	グループ学習 31:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
9	グループ学習 32:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
10	グループ学習 33:臨床医学		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
11	グループ学習 34:実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
12	グループ学習 35:実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
13	グループ学習 36:実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
14	グループ学習 37:実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
15	グループ学習 38:実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	100%	0%
					0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】作業療法士国家試験必修ポイント全4冊, 医歯薬出版。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】						
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】		
				教員室にて		

授業名： 総合演習 (4/5)

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	75(150)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	演習・実習 5
【授業の概要】 国家試験対策を小グループで行う。国家試験合格を目的とした知識・技術の整理と学習は、卒後の臨床にも役立つのでしっかり取り組む。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法実践に必要な解剖学・運動学・生理学の基礎知識を活用できる。 ②臨床医学の要点を整理することで作業療法実践に活用できる。 ③作業療法実践に活用できる領域別の治療の知識を深め実践できる。					知識・理解 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力	
【履修上の注意】						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	グループ学習 39: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
2	グループ学習 40: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
3	グループ学習 41: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
4	グループ学習 42: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
5	グループ学習 43: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
6	グループ学習 44: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
7	グループ学習 45: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
8	グループ学習 46: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
9	グループ学習 47: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
10	グループ学習 48: 実地		臨床医学の基礎知識整理と作業療法実践について口頭試問およびミニテストで確認する。			
11	グループ学習 49: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
12	グループ学習 50: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
13	グループ学習 51: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
14	グループ学習 52: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
15	グループ学習 53: 実地		領域別作業療法実践の実施の要点をまとめて口頭試問およびミニテストで確認する。			
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	100%	0%
					0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】作業療法士国家試験必修ポイント全4冊, 医歯薬出版。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】						
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】		
				教員室にて		

授業名： 総合演習 (5/5)

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
吉田 久美	一般	吉田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	75(150)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	演習・実習 5
【授業の概要】 国家試験対策を小グループで行う。国家試験合格を目的とした知識・技術の整理と学習は、卒後の臨床にも役立つのでしっかり取り組む。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①作業療法実践に必要な解剖学・運動学・生理学の基礎知識を活用できる。 ②臨床医学の要点を整理することで作業療法実践に活用できる。 ③作業療法実践に活用できる領域別の治療の知識を深め実践できる。					知識・理解 情報活用能力 統合的学習体験 問題解決力	
【履修上の注意】						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	グループ学習 54:到達度確認		過去の国家試験問題10年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
2	グループ学習 55:到達度確認		過去の国家試験問題11年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
3	グループ学習 56:到達度確認		過去の国家試験問題12年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
4	グループ学習 57:到達度確認		過去の国家試験問題13年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
5	グループ学習 58:到達度確認		過去の国家試験問題14年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
6	グループ学習 59:到達度確認		過去の国家試験問題15年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
7	グループ学習 60:到達度確認		過去の国家試験問題16年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
8	グループ学習 61:到達度確認		過去の国家試験問題17年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
9	グループ学習 62:到達度確認		過去の国家試験問題18年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
10	グループ学習 63:到達度確認		過去の国家試験問題19年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
11	グループ学習 64:到達度確認		過去の国家試験問題20年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
12	グループ学習 65:到達度確認		過去の国家試験問題21年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
13	グループ学習 66:到達度確認		過去の国家試験問題22年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
14	グループ学習 67:到達度確認		過去の国家試験問題23年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
15	グループ学習 68:到達度確認		過去の国家試験問題24年分に取り組み、問題の解説と回答を行う。苦手分野は口頭試問を教員と行うことで理解を深める。			
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	100%	0%
					0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】作業療法士国家試験必修ポイント全4冊, 医歯薬出版。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】						
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】		
				教員室にて		

授業名： 臨床実習

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	作業療法学科	【学年】	4
		吉田	【開講時期】	通年	【回数(時間)】	360(720)
			【曜日・コマ】	月～金 1～4	【授業形態・単位】	実習 16
【授業の概要】 学内で学んだ基礎医学分野・臨床医学分野・専門分野の知識・技術を総合的に活用し、対象者を理解するために臨床の場面で体験・実践する。					【受講して得られる力】	
【学習目標(到達目標)】 ①実習先で正統的の周辺参加し、チームの一員として作業療法実践の一部を担える。 ②体験した作業療法実践内容を記録し、臨床的思考過程をCEと共有できる。 ③事前学習した基礎医学・臨床医学・作業療法実践の知識を活用できる。 ④職業人として必要な社会人基礎力を高めることができる。					チームで働く力 考え抜く力 統合的学習体験 問題解決力 論理的思考力 創造的思考力	
【履修上の注意】 「課題の達成度」には学内発表等、全般が含まれる。						
回数	授業のテーマ(担当教員)	授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1w	学外実習 I	CEと共に、様々な事例について評価および基本的な治療プログラムを立案、実施する。記録や報告、統合と解釈、事例報告書の作成を通じCEの臨床的思考を共有し深める。				
2w	学外実習 I					
3w	学外実習 I					
4w	学外実習 I					
5w	学外実習 I					
6w	学外実習 I					
7w	学外実習 I					
8w	学外実習 I					
9w	学外実習 II					
10w	学外実習 II					
11w	学外実習 II					
12w	学外実習 II					
13w	学外実習 II					
14w	学外実習 II					
15w	学外実習 II					
16w	学外実習 II	評価方法	課題の達成度	100%	0%	0%
【教科書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【参考書】1～3年時に使用した教科書全般。						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】 自宅での自己学習には積極的に取り組むようにしてください。						
【本講義に関する質問先】		担当教員	【質問方法】	メール連絡	<a href="mailto:ot-department@k-tohto.ac.jp">ot-department@k-tohto.ac.jp</a>	